全日本建設交運一般労働組合

②建交劳

全国酸素部会新聞



発行 建交労 全国酸素部会機関紙部 大阪府堺市西区石津西町12番 TEL 072-241-6660

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP http://sansobukai.web.fc2.com

日本産業・医療ガス協会への要請行動

1月30日(月)新型コロナウイルスの影響により中止が続いていた 建交労中央運輸労使協議会が開催され全国酸素部会(以下部会) として日本産業・医療ガス協会(以下協会)への要請行動を行いま した。

忙しい中、協会側からは常務執行役員3名が対応してくださり、部会からは6名の組合員参加での要請となりました。要請内容としては「産業・医療ガスの安全・安定輸送確保に関する要請書」として、荷主の発注条件が道路貨物輸送事業の労働環境に大きな影響を与えている事から運送事業者の経営と労働者の生活・健康、輸送の安全が担保出来るよう速やかに改善措置を講じ「改正貨物自動車運送事業法」の遵守を周知徹底されること。「働き方改革関連法」の付帯決議に基づき2024年に改定される「改善基準告示」スケジュー



ルの周知徹底、高圧ガスの漏洩事故防止・安全性向上の為、不燃性ローリーにも可燃性・支燃性ローリー同様企業独自 に緊急遮断弁の設置等を要請し様々な意見が交換されました。

部会からは、我々の業界は貨物自動車事業法だけではなく高圧ガス取締法の規制があり両法の間にはグレーゾーンが存在しタンクローリーは除外されている部分もある、酸素独自アンケート比較集計の中で作業中に危険を感じた事が減



らない、着時間指定が多いままである、昨年度発生した事故例から不燃性ガスローリーにも緊急遮断弁の必要性等を要請し、協会側からは、メーカー8社で話し合うワーキンググループがあり改善に向けた取り組みをどう進めるかが課題である。現場とメーカーサイド・ディーラーの意識改革を勧め安全が進むことで労働時間が短縮出来るよう話を進めていければと思う意見がありました。

今要請で解決点が見つかり改善が一気に進む結果ではありませんが、安心・安全・安定輸送に向けた協会と部会の共通認識が感じられ、今後も要請行動を継続し安心・安全・安定輸送の出来る高圧ガス輸送を目指し取り組んでいきたいと思います。

全国酸素部会 部会長 相澤稔







令和5年1月30日東京都、衆議院会館で行われた建交労中央労使協議会 中央行動に参加してきました。

初めに角田委員長より署名が手渡され、続いて足立部会長の挨拶があり ました。国土交通省から要請内容への返答があり、続いて経済産業省から の返答がありました。どの回答も「取組んでいます。」「実行しています。」等 の返答でした。

感じた事は我々トラック運転手、いわゆる現場の立場から感じると何一つ我々 のためにはなっていない、実行されていてもなにも変わらない、これが現実 なのだと感じました。

トラックに乗った事はおろか、触った事も無い方々に理解を求めても響か ないのは当然なのかもしれません。ただ、我々ドライバーが魂を削り運んだ 物を食し、身につけで生活している事を忘れないでほしいです。

本行動の最後に要請行動のまとめと 記者発表が行われました。

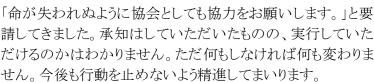
全国トラック協会、石油連盟、日本産 業・医療ガス協会、それぞれに分かれ

要請された内容が報告されました。

その中で私は、日本産業・医療ガス協会へ要請に行きました。要請の本題、 報告とは少しずれますが私の思いを伝えてきました。

「命より遵守されるものはあってはならない、安定供給を行うのが我々の務め、こ れは理解しています。」との答弁をいただきましたが、ただそれが命より優先さ れがちです、10年に一度の積雪、大寒波で危険であっても「行けるとこまで行っ

> てくれ。」これがメーカー、 会社としての現実です。



大陽液送分会 分会長 穀谷澄男





舄県労連第63回評詞



新潟県労連第63回評議員会が2023年1月14日出に現地参 加とWEB参加の併用で、開催されました。

藤田議長のあいさつでは、「今年は統一地方選挙が闘われ ます。春闘と一緒になるため、やりくりが大変ですが、割り切っ て進めます。県労連の統一地方選挙の方針と闘い方を熟知し て、私たちの要求をとりあげ、闘ってくれる政党、候補者の当 選のため、奮闘しましょう。」とありました。争議者・争議組合か らの訴えでは、帝京長岡高校不当解雇争議とJHU (JAL争議 団)から訴えがありました。

第63回評議員会は、1~5号議案が賛成多数で採択され、最 後に藤田議長の団結ガンバローで散会となりました。

テーエス支部新潟分会 分会長 青木敏一